

TTA レポート (NO.104)

2015年度は、TTA役員の改選による新体制の時期でもあり、また2022年の栃木国体に向けジュニア育成・強化で厳しい予算の始まりでもあります。皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。

1、2015年新体制にご協力を

- 1) 上野会長を補佐する副会長ポストを新設し、県議の横松副会長に担当して頂きます。また地区協会から宇都宮の神山さんに競技・ベテランを担当する副理事長に就任してもらいます。
- 2) 競技運営委員会は坂本さんにバトンタッチをし、審判委員会との人事交流を深め鈴木紀雄さんに幅広い経験を生かし審判委員会を担当していただきます。ジュニア委員会も河内委員長を迎え新体制で臨みたいと思います。実業団・総務経理の各委員会も人事異動がありますが新体制へのご理解ご協力をお願い致します。2022年に向け、次代を担うジュニアの発掘・普及・育成・強化は大切な業務であり、更に一丸となって邁進していきたい。
- 3) 2015年度は厳しい予算ですが、各地区協会の理事さんから詳細な確認をお願いし、TTAの更なる理解に繋げて下さい。

.....2014年度の実績と反省.....

- 1、TTAの収支面の更なる透明性、健全化及び情報共有の推進。スピードのある決断と実践
- 2、参加しやすい土壌作りのため、大会実施方法の日々見直しと改善 ダブルスの参加者増を
- 3、「第9回とちぎオープン」最終参加者数は757名と多数の参加有り。高妻先生・笠原先生によるメンタルヘルス教育の徹底
- 4、「ジュニア基金」のプロジェクトによる推進、道半ば。
- 5、JTA後援の楽天キッズテニス支援プログラム「PLAY+STAY」のレッド・オレンジ・グリーン ボールによる推進。
各地区協会から順番に実施
- 6、2014年度予算の大幅達成に感謝。

.....2015年度の事業方針.....

【温暖化防止チーム・マイナス6%運動】エコ活動認定団体表彰(スポレクエコとちぎ2011にて)		
TTAとして、「自分のゴミ+One運動+エコキャップ」を実施します。自分のゴミと周りに落ちているゴミの持ち帰り運動の推進		

- 1、TTAの収支面の更なる透明性、健全化及び情報共有の推進。スピードのある決断と実践
- 2、参加しやすい土壌作りのため、大会実施方法の日々見直しと改善 ダブルスの参加者増を
- 3、上野みちこ会長と横松もりと副会長の新体制、一丸となって推進
- 4、2022年目指し、次代を担うジュニアの、県体協と県のプログラムをベースに、TTAの積極的推進
- 5、P&Sの地区協会中心の推進 JTAの補助活用、TTAのバックアップ
- 6、2015年度厳しい予算だが、一丸となって努力を。

2、5/17 TTA総会 (15:00~ホテルニューイタヤ)

- 1、2014年度事業実績と予実算
- 2、2015年度組織改正・人事異動
 - ①横松 盛人 副会長 ②吉羽 清美 副理事長 神山 康洋 副理事長 ③競技運営委員会 坂本 光広
 - ④ジュニア委員会 河内 良容 ⑤実業団委員会 松井 一浩 ⑥審判委員会 鈴木 紀雄 競技からローテーション
 - ⑦足利協会 会長 荘司 和男 以上に伴いJTA・KTAも人事異動
- 3、2015年度事業計画と予算

特に、2022年栃木国体に向け、次代を担うジュニアの育成のため、①ジュニア育成基金 400K¥ は決定済み。

②県教育委員会で栃木国体用が、1653K¥であり、TTAで約1000K¥を繰越金から2015年で計画要、用途の全体の動きと透明性からもきっちり要。大変だが煮詰め要。
- 4、2014年度表彰

残念ながら欠席者が多かったが上野会長から表彰状とメダルが支給された。
- 5、井村なりの総会の反省点
 - 1) 総会の説明は簡潔明瞭で良いが、各委員長もポイントは一言言うべき。
 - 2) 時間は16時総会、その後すぐ表彰式、欠席者は言わなくてよい。HPに載せてる。
 - 3) 16:30には懇親会の場所に移動できる。
 - 4) 年一回の総会であり、忙しいと思うが、委員長の欠席多い、注意要。

次号は、9/1号です。

以上

TTA レポート (NO.105)

2020年には、オリンピック・パラリンピックの実施に向け、また2022年の栃木国体に向けジュニア育成・強化で栃木県と一丸となり取り組む要有り。皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。

1、8/23にTTAのサミット会議(理事長+3副理事長による)

2015年度のTTA方針に基づく懸案事項につき、その方向付けの議論を行った。

1) 2022年栃木国体のTTA組織と計画、予算のため、「栃木国体準備室」として専任の組織を作り準備する。

メンバーは井村理事長を総括者とし、次回理事会で内容も含め議論し承認を得る。

横松副会長・・・国体準備室等関係部署との情報収集、要望
井村理事長・・・総括
吉羽副理事長・・・総括補佐
神山副理事長・・・総括補佐
吉井副理事長・・・総括補佐
鈴木秀男総務経理副委員長・・・総務(事務全般担当)
鈴木紀雄審判委員長・・・審判養成
阿久津強化委員長・・・成年強化
ジュニア委員長・・・少年強化一吉羽副理事長指導

2) 中高生の参加増対策、P&S、聴覚者スポーツ大会(2016.6.24~26)。SCUとロービングのあり方等議論した。

2、【JTA】平成27年度TENNIS P&S特別補助金交付

6/9(火) 11:00~14:00 JTA畔柳会長との懇談会、昼食用意するを踏まえ、経過措置としての3年間は終了したが経過措置期間を1年間延長し、27年度の助成金は昨年と同額程度と考えている。

昨年に引き続きTENNIS P&S普及事業への特別補助金交付募集を今年も実施することとなりました。

JTA添付書類参照 ①平成27年度TENNIS P&S特別補助金交付のご案内 ②平成27年度TENNIS P&S特別補助金交付要綱(別紙1)

③平成27年度TENNIS P&S特別補助金交付申込書(別紙2) ④平成27年度TENNIS P&S特別補助金交付実績報告書(別紙3)

⑤PLAY+STAY名称変更のお知らせ

3、2015年関フは8/1~2に埼玉県で実施。

6/8都県通過で、栃木県は残念ながら7番目で不通過だった。

来年は、山梨県で開催、8/6~7で予定

1. 大会概要
・日程 平成27年7月31日(金)~8月2日(日)
・会場 埼玉県大宮第二公園第一テニスコート
・主催 公益財団法人日本体育協会・埼玉県・関東テニス協会・さいたま市
・主管 埼玉県・埼玉県体育協会・埼玉県テニス協会・さいたま市・さいたま市体育協会
・後援 文部科学省
2. 試合方法
・ダブルス1ポイント、シングルス2ポイント、合計3ポイントによる対抗戦。
・試合は、各種別とも都道府県対抗のトーナメント方式で行う。
・試合はすべて8ゲームズプロセット、セミアドバンテージ方式とする。
・試合は1回戦より勝敗決定後に打ち切りとする。
3. 参加監督・選手・トレーナー
総監督：阿久津定之
1. 成年男子 監督：渡邊千鶴 選手：玉腰敬大 河内良容
トレーナー：吉村健児

4、2015年第39回全日本都市対抗(2016希望郷いわて国体リハーサル大会)

1回戦は4-2で和歌山市に勝つも、2回戦で2-4で新潟市に惜敗。京都市が優勝。

来年度の都市対抗枠は関東6です。神奈川、東京、千葉はストレートで全国出場、埼玉、群馬、茨城、山梨、栃木で3枠を争うこととなります。9月16日のKTA常務理事会で神山副理事長より栃木会場を立候補声明予定。

5、2015年度「とちぎオープンジュニア」の最終参加者数が確定

18男子	118名	18女子	71名
16男子	67名	16女子	53名
14男子	97名	14女子	62名
12男子	169名	12女子	89名
男子計	451名	女子計	275名
男女計	726名		

昨年は757名でしたが今年は 726名で昨年より 31名減です。

次号は、106号で、発行は、2016.1.1号です。

以上

TTA レポート (NO.106)

謹賀新年 2020年オリンピック・パラリンピック、そしてすぐの2022年には栃木国体であり、一丸となりジュニアの開拓・普及・育成・強化に取り組みたいと思います。皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

1、9/15(火) 9:25～ 2015女子連大会 井村挨拶

先週の台風と不順な天候で、全て順延となり、今日久し振りに予選から大会実施。

- 1)おはようございます。今年は台風他天候不順で大変ですね。被災された方にお見舞い申し上げます。僕も脳梗塞になって2年9ヶ月、僕は健康に自信過剰だったと反省。自主リハビリに毎朝5時に起き頑張っています。3点お話ししたい。
- ①2022年 栃木国体、今年から県に年間計画表提出、次代を担うジュニアに将来投資を、TTA内にも栃木国体準備室を設け具体化。
- ②聴覚障害者関東スポーツテニス大会(2016/6/25～26)、以前2010年に栃木市で実施、皆様のご協力を。
- ③テニスPLAY & STAYで普及を、宇都宮市テニス協会と女子連でP&Sを実施し終了したが、今後も活発に活用をJTAからこの数年特別補助金 各市町村にも補助をで活発に申請ジュニア委員会に。
- ソニー生命さん、朝日新聞社さんには毎年お世話になり有難うございます。内藤さん以下運営委員の方ご苦勞様です。選手のかた大いに頑張ってください、粘る所は粘る、打つべき所は打つ。
- 2015年11月11日(水)～14日(土)ソニー生命カップ第37回全国レディーステニス大会は、栃木県はベスト16で健闘した。

2、2015年度中間決算状況

2.1 2022年栃木国体

- 1)予算---基本的に県補助金とするが、補助金で賄えない支出項目についてはTTA負担とし、2016年度から予算計上する。
- 2)主な内容 ①競技団体スキルアップ事業実施 ②国体対策ジュニア育成強化事業実施
- ③競技力ランクアップ支援事業実施 ④国体対策指導者養成事業実施 ⑤アドバイザーコーチ事業実施
- ⑥スポーツ医・科学サポート事業実施

2.2 テニスP&S

過年度の実績について

◆平成25年度(計1回)

I 鹿沼市 平成26年3月22日(土)am フォレストアリーナ キッズ 60人

◆平成26年度(計4回) (Iのみテニスの日の事業)

I 宇都宮市 平成26年9月23日(火・祝)終日 屋板運動場 キッズ・親子79人

II 足利市 平成26年10月11日(土)am 総合運動場 キッズ 74人

III 那須塩原市 平成27年2月11日(土)am 黒磯体育館 キッズ 18人

IV 栃木市 平成27年3月28日(土)am 総合運動公園体育館 キッズ 29人

(全計260人)

○平成27年度(計4回予定)---宇都宮市、佐野市、小山市、那須塩原市

2、3 SCUの養成について

- 第77回国民体育大会「栃木国体の」試合会場は、栃木県総合運動公園16面と宇都宮市屋板運動場12面の計28面で行う。
- レフェリー、審判員等は、JTA認定審判員資格者(有資格者)が勤める。 ※2会場を考慮し22人程度の有資格者が必要と考える。
- 試合はすべてSCUにて行う。
- 現在、TTAでのJTA認定審判員は89人だが、定年等の各種要因による減少により、68人位になると予想している。
- SCUの養成策として、定期的な練習会に加え、大会最終日の試合終了コート借りての練習会を行っていく。
- 各地区協会においても有資格者の増加とSCUの養成にご協力を願います。※2015年度審判講習会、認定会は12月5日に行う。この時、AEDの講習を併せて行う。会場は未定。

3、中体連加盟問題---JTA見解。一部引用・抜粋

11月4日の日本経済新聞朝刊スポーツ面(p.39)に「中学校テニス部硬式増えぬ訳;錦織人気追い風のはずが・・・;中体連未加盟が壁」という長文の記事が掲載されました。私のもとには、「どうした経緯で」との問い合わせがいくつか寄せられていますので、JTAによる昨年11月の内閣府への中体連加盟問題で 請願書提出の担当者として、この日経記事の掲載の経緯等についてご説明申し上げます。

- この記事を出筆した日経の原真子記者からは今年5月にJTA事務局に取材要請があり、中体連加盟問題はJTAそして日本テニス界にとって重要案件であることから、内山専務理事と私が取材を受けました。
 - 取材においては、請願書での内容を中心に中体連加盟問題に対するJTAの立場をブリーフし、請願書提出は公益性の視点から中学校でのテニス環境の改善を目的したものであり、決してソフトテニスと敵対視したものではないことを強調しました。
 - 日経記事には文部科学省による「中体連への働きかけ」の言及があります。10月1日のスポーツ庁の発足に伴い、今はスポーツ庁政策課 学校体育室の所管となっています。5. 日経記事は、日本テニス界が永年抱えている中体連加盟問題に対するJTAの取り組みに対して好意的な内容となっていると思います。特に、記事のタイトル、そして中体連の主張として引用されている「新加盟の窓口は開いている」については、「30年以上、新規加盟はない」としていることからいえると思います。
- 以上